

## 8J3SENT0/3 特別記念局 提出ログの概要

◎ログは必ず、紙ログとハムログデータの2種類で提出してください。

◎ハムログデータ入力は、「ためない」ようにして、入力後のQS0データファイル (.hdb)は  
3日以内にログ管理者がマージ（時間でソートしないで）してJR3BKHへ【開封確認】付のメ  
ールでお送り下さい。

（ホームページでのログサーチに使用しますので速やかに送ってください）

送っていただくデータファイルは \*.hdbです。

◎紙ログは「JARL運用申込書」「運用日誌」とともに郵送か手渡しでJR3BKHへ、各クラブ運用  
終了後10日以内にログ管理者から渡す。

◎紙ログとハムログでデータが違う場合、紙ログを原本とし、ハムログを修正します。

◎ハムログの Remarks1 の欄にはオペレータのコールまたは名前を入力します。

【例】%JR3BKH% 必ず%を前後に入れます。

◎ハムログの Remarks 2 の欄には移動地を、%奈良県奈良市 JCC#2401 PM74VQ% のように入力  
してください。（グリッドロケータはわかる範囲でけっこうです）

◎ハムログの DX と国内の入力切替は注意してください。DX 局には、DX チェック欄に印を入  
れ、日付と時間は国内と同様に JST にしてください。国内局に戻すときは、DX チェックを  
外してください。

◎ご質問は、JR3BKH へメール (jr3bkh@jarl.com) でお願ひします。【添付は1MBまで】

## ハムログのインストール

- ◎ハムログの最新バージョンを適宜ホームページからダウンロードしてください。
- ◎普段使っているハムログとは、別にフォルダを作り 8J3SENT0/3 専用にした方が良いと思います。その方法を記載します。
  - ・マスターファイル名はクラブ名などを使い、8j3sento\_クラブ名.mst のように専用マスターを作ってください。  
(若草山クラブの場合、通常 Hamlog.mst ですが、これを 8j3sento\_若草山.mst とします。)
  - ・作り方は、
    - ①デスクトップ上に 8J3SENT0 のフォルダを作成しておき、
    - ②新たに HAMLOG をダウンロードし、
    - ③8J3SENT0 フォルダへインストールする。
    - ④8J3SENT0 フォルダの中に hamlog.mst があるので、それを、例えば、8j3sento\_若草山.mst と名前を変更する。
    - ⑤HAMLOGを起動すると、「NO.5 ファイルがオープンできない・・・」等エラーメッセージが現れます。OKをクリックすると、QSOデータのオープン(マスターファイルの意味です。)の選択画面が現れます。
    - ⑥ここで、先ほど名前を変えた 8j3sento\_若草山.mst が出ているはずなので、それを選んで、開くをクリックします。
    - ⑦「・・・がオープンできません！新規作成しますか？」と表示されるので、はい(Y)をクリックします。
    - ⑧これで、QSO データファイル(例では、8j3sento\_若草山.hdb)ができました。
- ◎環境設定を行います。紙ログからハムログデータを作りますので、オプションー環境設定ー設定1の画面で、
  - ①「最終データの日付時間をコピーする」にチェックを入れます。
  - ②次にRST初期値を運用モードに合わせます。
  - ③設定2の画面に切り替えて、Remarks1の欄にオペレータのコール等を入力します。  
【例】%JR3BKH% 必ず%を前後に入れます。
  - ④次にRemarks 2の欄ですが、移動地を、%奈良県奈良市 JCC#2401 PM74VQ% のように入力してください。
- ◎ユーザーリストは、使用しないでください。入力時の省力化は、各自が設定してください。

## 8J3SENT0/3 特別記念局 ハムログ入力の詳細とお願い

### ロギングソフト(ターボ・ハムログVer5.0以上)入力の注意事項とお願い

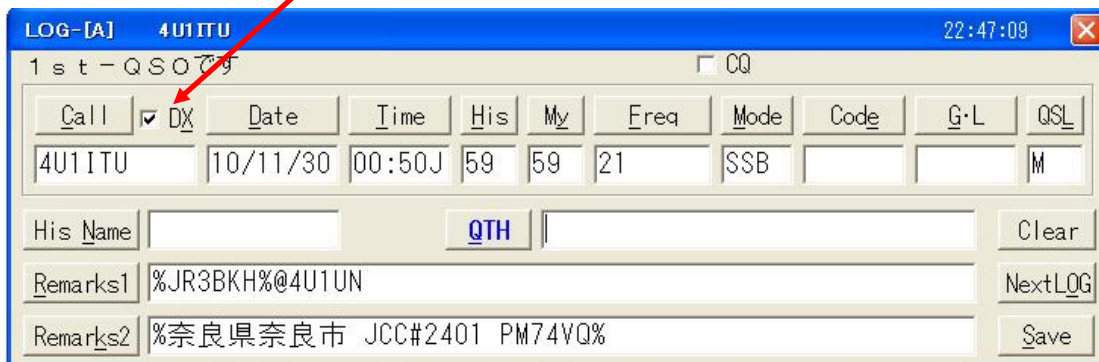
Ver5.0からはサフィックスの長いコールサインやRTTYやPSK31などのモードをそのまま入力できるようになっていますので、入力前には設定を確認して使用して下さい。

### コールサイン(Calls)

通常の形式で入力して下さい。英文字小文字で入力の場合も大文字に自動変換されます。

### DX局

DX局の場合はDX欄にチェックを入れるのを忘れないで下さい。



### 日付(Date)

交信開始の日付を入力して下さい。年/月/日の順序です。月及び日については二桁表示で5月7日の場合は 2010/05/07 となります。

### 時刻(Time)

交信開始の時刻を入力して下さい。24時間制二桁表示で午後6時8分の場合には18:08となります。なお国内局・DX局ともにJSTで入力して下さい。(UTCは使用しない)

### 相手局のRSレポート(His)

こちらから送出した相手局宛のRSTレポートを入力して下さい。

### 自局へのRSTレポート(My)

相手局より送付された自局(記念局)宛のRSTレポートを入力して下さい。

### 周波数(Freq)

交信に使用した周波数を入力して下さい。3.5 7 10 14...の形式で、例えば 21.125等の細かい周波数は必要はありません。1.2GHzの場合は1200と表記して下さい。

衛星通信の場合は、UP/DOWN周波数(半角)を入力して下さい。ただし「430/1200」のように8文字以上の場合はオプションの環境設定で文字数を変更して下さい。

### 電波型式(Mode)

交信に使用した電波型式を入力して下さい。必ず AM SSB CW RTTY DV...の形式で、A3 A3J...や 3A5 3A5J...の表記は使用しないで下さい。2Wayを基本交信と考えていますので、交信は必ず同じ電波型式を使用して下さい。

### 相手局のコード (Code)

相手局の JCC JCG DXCC 等のデータ欄ですが特に使用しません。

### 相手局のグリッド・ロケータ (G·L)

相手局のグリッド・ロケータ用のデータ欄ですが特に使用しません。

### QSL カード (QSL)

交信証 (QSL カード) の交換等の欄です。通常は JARL 経由で発送しますので、空白にしてください。QSL マネージャーへの転送の場合は「M」を入力し Remarks1 の欄に @ マネージャーコールを入力してください。No QSL の場合は「N」の入力をお願いします。(郵送は SASE のみです。「S」を入力し、下記の住所をアナウンスしてください。)

【SASE: 返信用住所が書かれ返信用切手が貼られた封筒を送ってもらう方法】

SASE 送付先 : 〒630-8691 奈良中央郵便局私書箱 3 4 号 8J3SENT0  
: 8J3SENT0 P. O. Box34 Nara C. P. O. 630-8691 Japan

### 相手局の名前 (His Name)

相手局の名前又はハンドルの欄ですが特に使用しません。

### 相手局の住所又は運用場所 (QTH)

相手局の住所又は運用場所の欄ですが特に使用しません。

特に使用しない項目は空欄でも実際のデータを入力して頂いてもどちらでも結構です。

(ログダンプ、QSL カードの印刷データには必要ない項目です)

### 備考 1 (Remarks1)

運用者のコールサイン又は名前等を入力してください。それを「%」でくくってください。また、相手に QSL マネージャーがある場合は運用者の後の「%」の後に「@ マネージャーコール」(半角)を入力してください。

入力例

%JR3BKH% 運用者が JR3BKH の場合

%中田雅之%@4U1UN 運用者が中田雅之で QSL マネージャーが 4U1UN の場合

前後の「%」、「@ マネージャーコール」は半角で入力してください。

個人コールサインをお持ちの方は極力コールサインの入力をお願いします。

相手局が DX 局で名前を入力する場合はローマ字で入力をお願いします。

入力は必ず欄の前詰をお願いします。

また衛星通信の場合は衛星名を「\$」でくくって半角で、\$S=衛星名\$ のように追加してください。

また相手局の移動地や QRP 出力を印字したい場合は「\$」でくくって、

\$Q=◎◎市移動\$ や \$Q=QRP ◎W\$ のように追加してください。

ここに入力した文字が直接 QSL カードに印字されますので十分注意して入力してください。

## 備考 2 (Remarks2)

移動運用先と JCC 又は JCG、AJA#とグリッド・ロケータを入力して下さい。

入力例

市の場合は府県名+市           %奈良県奈良市 JCC#2401 PM74VQ%

町村の場合は郡名+町村名   %生駒郡斑鳩町 JCG#24001 PM74U0%

区の場合は市名+区名         %大阪市都島区 AJA#250102 PM74SQ%

必ず半角「%」に続いて漢字（DX局はローマ字）で府縣市町村区を入力して下さい。

政令指定都市または郡の場合は、市及び区または郡及び町村を入力して下さい。府県の入力は必要ありません。

続いて半角スペースを入力し後に移動地の JCC# JCG# AJA#を半角英数文字で入力して下さい。

更に半角スペースを入力し後にグリッド・ロケータを半角英数文字で入力して下さい。

サブ・スクエアーの入力はなくても結構です。

最後に半角「%」でくくってください。

【%+市町村区+半角 JCC# JCG# AJA#+半角数+半角スペース+半角英数 G・L+%】

入力は必ず欄の前詰をお願いします。

ここに入力した文字が直接 QSL カードに印字されますので十分注意して入力して下さい。

ターボ・ハムログ、オプションの環境設定、プルダウン等に必要事項を前もって入力しておく  
と快適に使用できます。また編集と環境設定にて、入力環境設定欄で、Remarks1 及び Remarks2  
を保存すれば毎回入力しなくて済みます。

運用終了後は必ず USB メモリー等に QS0 データのバックアップの保存処理を実施して下さい。  
使用するターボ・ハムログのアプリケーション (Win 又は DOS 版) 及びバージョンについては特  
に規定しませんが、提出データは Ver5 で可能な限り最新版をご使用下さい。

以上